

議 事 要 旨

区 分	摘 要
日 時	令和 8 年 5 月 20 日（水） 17：30～17：50
会 議 名	令和 8 年度 第 1 回手術部連絡協議会
場 所	日亜ホール White（大）
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	別紙のとおり
陪 席	別紙のとおり

議 事

・協議事項

(1) 稼働状況について

手術部川西副部長より、資料 1-1～1-5 を基に説明があった。4 月の稼働率について、70.17%と過去 3 年に比べて低い稼働率だった。

手術予定時間と実際の手術時間の差については、時間差 4 時間以上の件数は 0 件であった。手術時間から 50%以上超過した手術に関して、過度な超過は術中に問題が発生した症例だったと思われるが、それ以外の短時間手術の延長は、手術室の運営に支障を来す恐れがあるため、適正な手術時間の入力に協力いただきたい。

本件について、各委員からの異論はなく、承認された。

(2) その他

① 手術時の「左右誤認」撲滅に向けた WG および手術室搬入時の「患者誤認」撲滅に向けた電子化 WG 立ち上げについて

滝沢部長より、資料 2 を基にワーキンググループ（以下、WG）の立ち上げについて説明があった。池本安全管理部長から WG 立ち上げの提案があり、ネバーイベント（左右誤認・患者誤認・誤薬）を撲滅する目的で、本協議会後に WG を不定期開催したい。内容を 2 点に絞り、1.手術時の「左右誤認」撲滅に向けた WG、2.手術室搬入時の「患者誤認」撲滅に向けた電子化 WG を開催するものとする。1 については、患者の手の甲に印をつけること、2 については、手術指示書の電子化を進めることについて議論を行う。

本件について、各委員からの異論はなく、承認された。

② 縫合糸の合理化に関して

滝沢部長より、縫合糸の合理化について説明があった。経費削減のための外科系の取組みとして、可能な場合は高価な縫合糸ではなく、安価なものを使用することに協力いただきたい。他大学でも行われており、年間数百万円の経費削減になる。まずは、この取組みの可否について、各診療科へアンケートを実施したいと考えている。

本件について、各委員からの異論はなく、承認された。

③ 手術室における写真撮影と、SNS を含むネット環境への使用に関して

手術部川西副部長より、手術室での写真撮影とその使用について説明があった。手術室での撮影自体が全面禁止というわけではないが、個人情報の写り込みや流出の恐れがあるため、写真撮影とその使用に関して一定の取り決めが必要である。まずは、どのような取り決めが必要であるか、各診療科へアンケートを実施し、具体的な内容を検討する。

本件について、各委員からの異論はなく、承認された。

④ 物品の有効期限の情報共有について

滝沢部長より、物品の有効期限について、診療科間で横断的に情報共有を行いたいとの説明があった。

藤本委員より、有効期限が近づいている物品について、定期的に SPD よりリストを提出いただくと報告があった。リストは手術室の廊下の掲示板に貼付する。看護師から医師へ有効期限の近い物品の使用を提案することに協力いただきたい。

本件について、各委員からの異論はなく、承認された。

・報告事項

(1) 感染制御部より：2025 年度 針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露報告について

感染制御部後藤委員より、資料 3 を基に説明があった。2025 年は針刺し・切創が 20 件、皮膚粘膜曝露が 1 件であった。発生状況については、縫合針の使用によるものが最も多く、血液などで滑りやすい状況での取扱いや、器材受け渡し時のコミュニケーションなどに注意いただきたい。粘膜曝露予防のため、手術室入室時は、ゴーグル着用の徹底をお願いしたい。

【次回開催予定：令和 8 年 7 月 15 日（水）17：30～（日亜ホール White 小）】

令和8年度 手術部連絡協議会委員名簿

※徳島大学病院手術部規則第 4条第2項に基づく

R8.5.20

所 属		委員氏名 (関係副科長・副部長)	出 席	代理者又は陪席者氏名	代理出席 又は陪席
手 術 部 部 長 * 第 1 号		滝沢 宏光	○		
関 係 診 療 科 の 副 科 長 及 び 関 係 中 央 診 療 施 設 等 の 副 部 長 * 第 2 号 及 び 申 合 せ	循 環 器 内 科	山口 浩司		高橋 智紀	
	血 液 内 科	藤井 志朗		曾我部 公子	○
	消 化 器 内 科	岡本 耕一		三宅 孝典	
	心 臓 血 管 外 科	菅野 幹雄	○	松本 遼太	
	食 道 乳 腺 甲 状 腺 外 科	井上 聖也		三崎 万理子	○
	呼 吸 器 外 科	鳥羽 博明			
	泌 尿 器 科	山口 邦久		楠原 義人	○
	消 化 器 ・ 移 植 外 科	齋藤 裕	○	柏原 秀也	
	小 児 外 科 ・ 小 児 内 視 鏡 外 科	森 大樹		齋藤 裕	○
	眼 科	柳井 亮二		山田 将之	南 佳佑
	耳 鼻 咽 喉 科 ・ 頭 頸 部 外 科	佐藤 豪		近藤 英司	○
	整 形 外 科	西庄 俊彦		岩瀬 穰志	○
	皮 膚 科	村尾 和俊		中野 里穂	
	形 成 外 科 ・ 美 容 外 科	安倍 吉郎		峯田 一秀	山崎 裕行
	脳 神 経 外 科	島田 健司		宮本 健志	○
	麻 酔 科	角田 奈美		川西 良典	
	精 神 科 神 経 科 ・ 心 身 症 科	中瀧 理仁		六車 隆太郎	○
	小 児 科	岡村 和美	○	小野 朱美	
	産 科 婦 人 科	吉田 加奈子		峯田 あゆか	○
	歯 科 口 腔 外 科 （ 口 腔 内 科 ）	青田 桂子	○		
	歯 科 口 腔 外 科 （ 口 腔 外 科 ）	高丸 菜都美		上杉 篤史	秋田 和也
	歯 科 口 腔 外 科 （ 歯 科 麻 酔 科 ）	高石 和美	○		
	手 術 部	川西 良典	○		
	放 射 線 部 * 医 科	音見 暢一		新井 悠太	
	放 射 線 部 * 歯 科	前田 直樹		近藤 智之	○
	救 急 集 中 治 療 科	板垣 大雅		板東 夏生	
	輸 血 ・ 細 胞 治 療 部	曾我部 公子	○	藤井 志朗	
	安 全 管 理 部	大坂 朱美	○		
	感 染 制 御 部	後藤 さおり	○		
	物 流 セ ン タ ー	近藤 武	○		
副 看 護 部 長 * 第 3 号		原田 路可	○		
手 術 部 看 護 師 長 * 第 4 号		藤本 理恵子	○		
物 流 セ ン タ ー 副 看 護 師 長 * 第 4 号		(兼任 原田 路可)	－		
手 術 部 副 看 護 師 長 * 第 5 号		池添 照代			
医 事 課 副 課 長 * 第 6 号		郡 義典	○		
ME 管 理 セ ン タ ー 臨 床 工 学 技 士 * 第 7 号		坂東 直紀			田坂 浩樹

陪席

医療支援係 係長
特任事務員
事務補佐員

高橋 久美子
木村 優里
渡瀬 奈未

・協議事項

(1) 稼働状況について

①3 月分は報告済。4 月分は別紙参照。 【資料 1】

(2) その他

① 手術時の「左右誤認」撲滅に向けた WG および手術室搬入時の「患者誤認」撲滅に向けた電子化 WG 立ち上げについて 【資料 2】

② 縫合系の合理化に関して

③ 手術室における写真撮影と、SNS を含むネット環境への使用に関して

・報告事項

(1)感染制御部より：2025 年度 針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露報告について【資料 3】

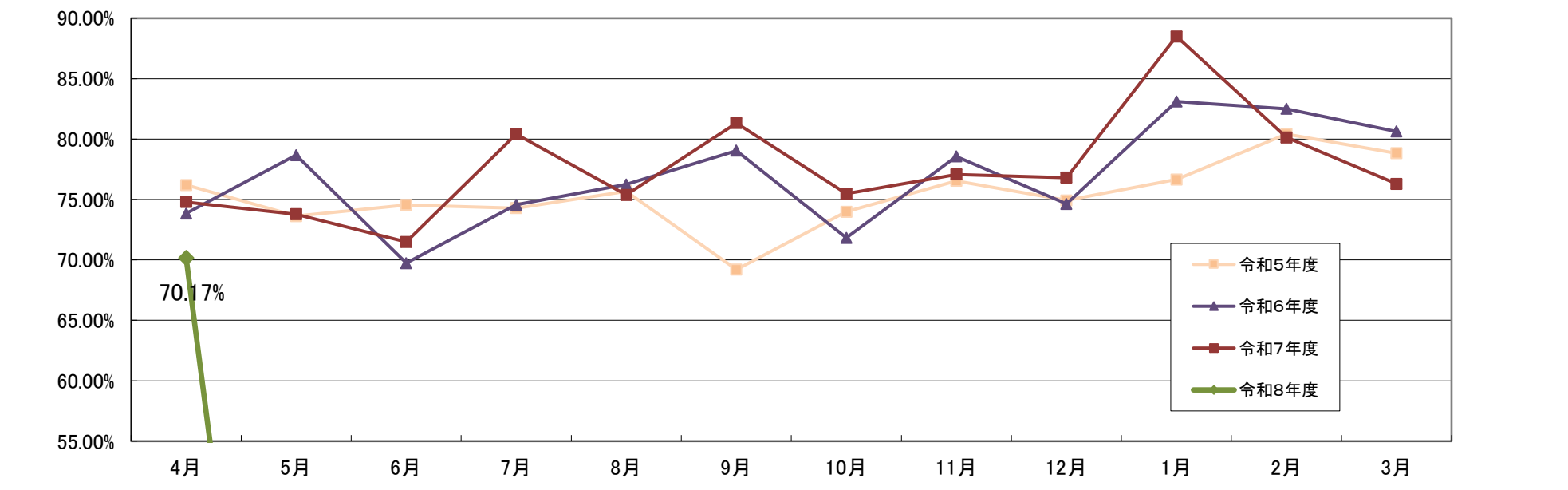
【次回開催予定：令和 8 年 7 月 15 日（水）17：30～ 日垂ホール White 小】

令和8年度 手術部連絡協議会委員名簿

※徳島大学病院手術部規則第 4条第2項に基づく

赤字…令和8年度交代

所 属		委員氏名 (関係副科長・副部長)			
手術部部長 *第1号		滝	沢	宏	光
関係診療科の副科長及び関係中央診療施設等の副部長 *第2号及び申し合せ	循環器内科	山	口	浩	司
	血液内科	藤	井	志	朗
	消化器内科	岡	本	耕	一
	心臓血管外科	菅	野	幹	雄
	食道乳腺甲状腺外科	井	上	聖	也
	呼吸器外科	鳥	羽	博	明
	泌尿器科	山	口	邦	久
	消化器・移植外科	齋	藤		裕
	小児外科・小児内視鏡外科	森	大		樹
	眼科	柳	井	亮	二
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	佐	藤		豪
	整形外科	西	庄	俊	彦
	皮膚科	村	尾	和	俊
	形成外科・美容外科	安	倍	吉	郎
	脳神経外科	島	田	健	司
	麻酔科	角	田	奈	美
	精神科神経科・心身症科	中	瀧	理	仁
	小児科	岡	村	和	美
	産科婦人科	吉	田	加	奈子
	歯科口腔外科（口腔内科）	青	田	桂	子
	歯科口腔外科（口腔外科）	高	丸	菜	都美
	歯科口腔外科（歯科麻酔科）	高	石	和	美
	*手術部	川	西	良	典
	放射線部 *医科	音	見	暢	一
	放射線部 *歯科	前	田	直	樹
	救急集中治療科	板	垣	大	雅
	輸血・細胞治療部	曾	我	部	公子
	安全管理部	大	坂	朱	美
	感染制御部	後	藤	さ	おり
	物流センター	近	藤		武
副看護部長 *第3号		原	田	路	可
手術部看護師長 *第4号		藤	本	理	恵子
物流センター副看護師長 *第4号		(兼任 原田路可)			
手術部副看護師長 *第5号		池	添	照	代
医事課 副課長 *第6号		郡	義		典
ME管理センター臨床工学技士 *第7号		坂	東	直	紀



手術室番号	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1－A	99.69%												99.69%
1－B													
2	82.88%												82.88%
3	77.35%												77.35%
4	62.52%												62.52%
5	75.08%												75.08%
6	90.75%												90.75%
7	87.77%												87.77%
8	63.31%												63.31%
9	87.23%												87.23%
10	50.03%												50.03%
11	23.12%												23.12%
12													
13	48.30%												48.30%
14	57.23%												57.23%
15	77.08%												77.08%
合計	70.17%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	70.17%

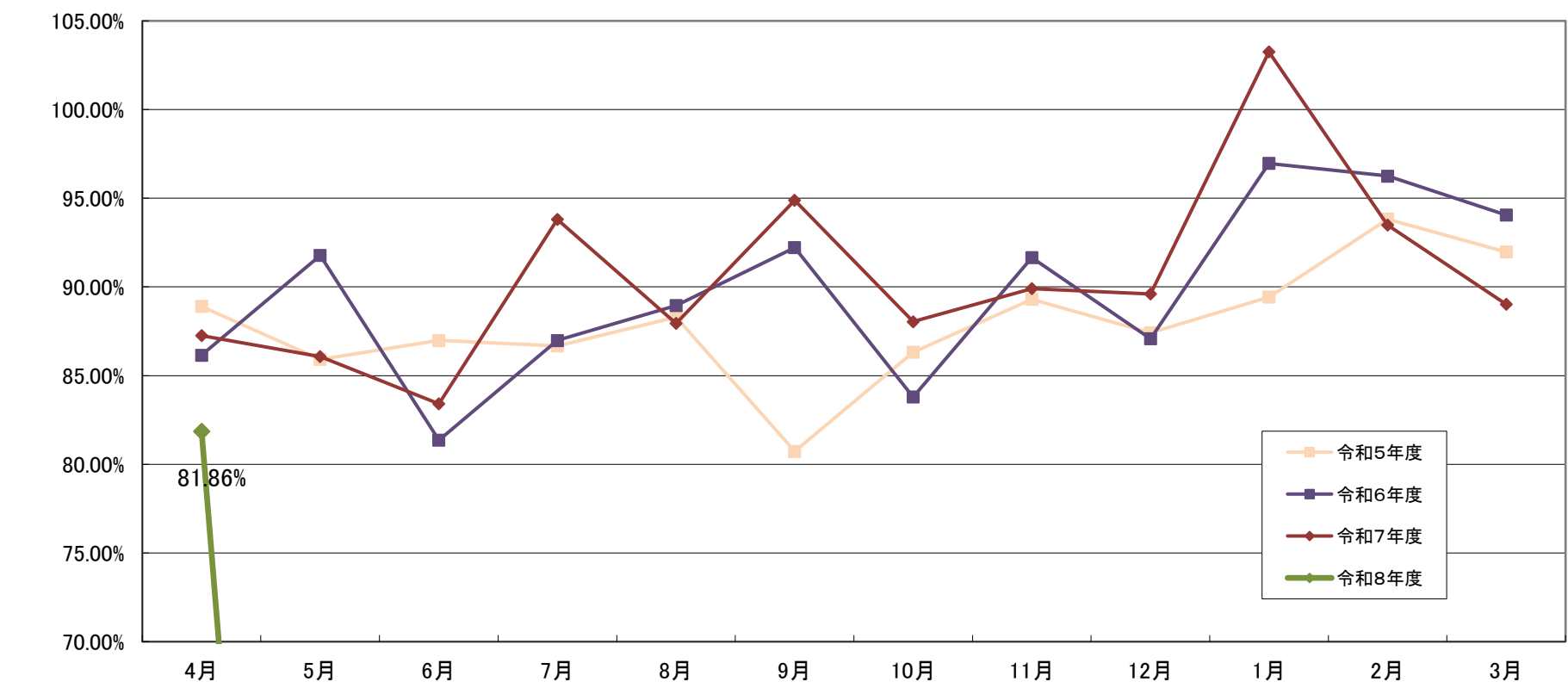
※H28.2から14室で算出

診療日数	21	18	22	22	20	19	21	19	20	19	18	22	241
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

1日当時間8:00

【計算式】 在室時間÷(8時間×診療日数×手術室数)

令和5年～令和8年度 手術室稼働率の推移(列数に対する稼働率)



区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働率	81.86%												81.86%

※12列で算出(R4年度から稼働列数が11.2列から12列に変更)

診療日数	21	18	22	22	20	19	21	19	20	19	18	22	241
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

1日当時間	8:00
-------	------

【計算式】 在室時間÷(8時間×診療日数×列数)

2026年度各科月別件数

資料 1 - 2

件数	4 月			5 月			6 月		
時間	合計	全麻	その他	合計	全麻	その他	合計	全麻	その他
消化器外科	45	44	1	0			0		
	178:56	177:54	1:02	0:00			0:00		
小児外科	9	9	0	0			0		
	14:40	14:40	0:00	0:00			0:00		
食乳甲外科	34	32	2	0			0		
	99:56	98:11	1:45	0:00			0:00		
呼吸器外科	19	18	1	0			0		
	68:03	67:04	0:59	0:00			0:00		
整形外科	69	46	23	0			0		
	207:20	173:55	33:25	0:00			0:00		
脳神経外科	49	45	4	0			0		
	203:59	197:43	6:16	0:00			0:00		
心臓血管外科	16	16	0	0			0		
	82:05	82:05	0:00	0:00			0:00		
泌尿器科	42	33	9	0			0		
	134:35	125:53	8:42	0:00			0:00		
眼科	130	24	106	0			0		
	153:39	48:13	105:26	0:00			0:00		
耳鼻咽喉科	31	30	1	0			0		
	112:40	111:25	1:15	0:00			0:00		
産科婦人科	66	47	19	0			0		
	166:25	140:32	25:53	0:00			0:00		
形成外科	49	25	24	0			0		
	141:53	104:01	37:52	0:00			0:00		
精神科神経科	7	7	0	0			0		
	2:06	2:06	0:00	0:00			0:00		
小児科	7	7	0	0			0		
	15:41	15:41	0:00	0:00			0:00		
麻酔科	0	0	0	0			0		
	0:00	0:00	0:00	0:00			0:00		
その他	16	16	0	0			0		
	30:57	30:57	0:00	0:00			0:00		
口腔内科	9	7	2	0			0		
	20:07	17:29	2:38	0:00			0:00		
口腔外科	29	20	9	0			0		
	62:15	52:36	9:39	0:00			0:00		
その他歯科	0	0	0	0			0		
	0:00	0:00	0:00	0:00			0:00		
	合計	全麻	局麻	合計	全麻	局麻	合計	全麻	局麻
医科 合計	589	399	190	0	0	0	0	0	0
	1612:55	1390:20	222:35	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
歯科 合計	38	27	11	0	0	0	0	0	0
	82:22	70:05	12:17	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
医科歯科合計	627	426	201	0	0	0	0	0	0
	1695:17	1460:25	234:52	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00

時間差 2 時間以上

■時間差4時間以上

手術日	実施診療科1	手術 予定時間	手術所要 時間(1回目)	時間差	率（％）	確定術式1
2026/3/4	心臓血管外科	2:00	4:40	2:40	133	ステントグラフト内挿術（腹部大動脈）
2026/3/9	耳鼻咽喉科	12:00	14:10	2:10	18	喉頭・下咽頭悪性腫瘍手術（含む再建）
2026/3/9	心臓血管外科	5:00	8:07	3:07	62	大動脈瘤切除術（腹部大動脈）（その他）
2026/3/11	泌尿器科	4:00	6:23	2:23	60	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 内視鏡手術用支援機器を用いるもの
2026/3/13	心臓血管外科	4:00	7:34	3:34	89	冠動脈、大動脈バイパス移植術（2 本以上）（オフポンプ）
2026/3/16	食乳甲外科	8:00	10:12	2:12	28	縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(頸部、腹部)
2026/3/17	脳神経外科	2:30	4:52	2:22	95	K178 脳血管内手術（硬膜動静脈奇形塞栓術）
2026/3/20	脳神経外科	8:00	10:16	2:16	28	K169 頭蓋内腫瘍摘出術 2 その他のもの
2026/3/24	消化器外科	6:00	9:52	3:52	64	ロボット支援下腓体尾部切除術
2026/3/26	産科婦人科	4:00	6:50	2:50	71	ロボット支援腹腔鏡下子宮全摘術（入院料含む）
2026/3/26	脳神経外科	6:00	8:18	2:18	38	K169 頭蓋内腫瘍摘出術 2 その他のもの
2026/3/31	産科婦人科	3:00	6:09	3:09	105	腹腔鏡下腔式子宮全摘術
2026/4/9	産科婦人科	1:00	3:21	2:21	235	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡によるもの）
2026/4/14	産科婦人科	3:00	5:24	2:24	80	腹腔鏡下腔式子宮全摘術
2026/4/14	消化器外科	2:00	4:12	2:12	110	腹腔鏡下胆嚢摘出術
2026/4/28	消化器外科	3:00	5:08	2:08	71	ロボット支援下S状結腸切除術
2026/4/30	心臓血管外科	4:00	6:49	2:49	70	冠動脈、大動脈バイパス移植術（2 本以上）
2026/4/30	消化器外科	6:00	8:39	2:39	44	ロボット支援下腓体尾部切除術
2026/4/30	形成外科	1:00	4:01	3:01	302	創傷処理(筋肉、臓器に達する)(長径10cm以上)(その他)

前月比	3 月	4 月
2 時間以上	12 件	7 件
4 時間以上	0 件	0 件

■ 100%以上/ ■ 150%以上/ ■ 200%以上

手術日	実施 診療科1	手術 予定時間	手術所要時 (1回目)	時間差	率 (%)	確定術式1
2026/3/4	心臓血管外科	2:00	4:40	2:40	133	ステントグラフト内挿術（腹部大動脈）
2026/3/5	循環器内科	1:00	1:55	0:55	92	TAVI
2026/3/9	耳鼻咽喉科	1:00	1:57	0:57	95	口蓋扁桃手術（摘出）
2026/3/9	心臓血管外科	5:00	8:07	3:07	62	大動脈瘤切除術（腹部大動脈）（その他）
2026/3/10	産科婦人科	1:30	2:18	0:48	53	子宮付属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡によるもの）
2026/3/11	泌尿器科	4:00	6:23	2:23	60	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 内視鏡手術用支援機器を用いるもの
2026/3/11	泌尿器科	2:00	3:54	1:54	95	経尿道的前立腺手術
2026/3/12	産科婦人科	2:30	4:03	1:33	62	腹腔鏡下腔式子宮全摘術
2026/3/13	心臓血管外科	4:00	7:34	3:34	89	冠動脈、大動脈バイパス移植術（2本以上）（オフポンプ）
2026/3/13	形成外科	2:00	3:02	1:02	52	分層植皮術(25cm2以上100cm2未満)
2026/3/13	整形外科	1:30	2:22	0:52	58	椎弓切除術（頸椎）
2026/3/16	心臓血管外科	2:00	3:20	1:20	67	デブリードマン
2026/3/17	食乳甲外科	1:30	3:03	1:33	103	上皮小体腺腫・過形成摘出術（上皮小体摘出術）
2026/3/17	脳神経外科	2:00	3:54	1:54	95	K180 頭蓋骨形成手術 2 硬膜形成を伴うもの
2026/3/17	脳神経外科	2:30	4:52	2:22	95	K178 脳血管内手術（硬膜動静脈奇形塞栓術）
2026/3/18	食乳甲外科	1:15	1:55	0:40	53	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）
2026/3/19	形成外科	2:30	4:21	1:51	74	皮膚悪性腫瘍切除術(単純切除)
2026/3/19	産科婦人科	1:30	2:36	1:06	73	子宮付属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡によるもの）
2026/3/23	耳鼻咽喉科	1:30	2:19	0:49	54	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅲ型(選択的(複数洞)副鼻腔手術)
2026/3/24	消化器外科	6:00	9:52	3:52	64	ロボット支援下腭体尾部切除術
2026/3/24	眼科	0:30	0:45	0:15	50	緑内障手術 4 緑内障治療用インプラント挿入術
2026/3/24	整形外科	1:00	2:38	1:38	163	切開洗浄
2026/3/25	口腔外科	2:30	4:06	1:36	64	J000-5 拔牙手術（1歯につき）（下顎完全埋伏智歯）
2026/3/26	産科婦人科	4:00	6:50	2:50	71	ロボット支援腹腔鏡下子宮全摘術（入院料含む）
2026/3/26	形成外科	1:00	1:49	0:49	82	皮膚悪性腫瘍切除術(単純切除)
2026/3/26	循環器内科	1:00	1:40	0:40	67	マイトラクリップ
2026/3/26	産科婦人科	0:30	0:45	0:15	50	子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術、子宮内膜ポリープ切除術
2026/3/27	眼科	0:15	0:33	0:18	120	水晶体再建術 眼内レンズを挿入する場合 その他のもの（片側）
2026/3/30	眼科	1:00	1:45	0:45	75	水晶体再建術 眼内レンズを挿入する場合 縫着レンズを片側挿入
2026/3/31	産科婦人科	3:00	6:09	3:09	105	腹腔鏡下腔式子宮全摘術
2026/3/31	脳神経外科	2:30	3:56	1:26	57	迷走神経刺激装置植込術
2026/4/1	心臓血管外科	2:00	3:11	1:11	59	ステントグラフト内挿術（腸骨動脈）
2026/4/3	産科婦人科	1:00	1:33	0:33	55	帝王切開術（選択帝王切開術）
2026/4/3	眼科	0:30	1:17	0:47	157	硝子体茎頭微鏡下離断術（その他）
2026/4/3	眼科	0:30	1:00	0:30	100	緑内障手術 4 緑内障治療用インプラント挿入術
2026/4/9	形成外科	1:00	1:30	0:30	50	皮膚、皮下腫瘍摘出術
2026/4/9	産科婦人科	1:00	2:11	1:11	118	子宮付属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡によるもの）
2026/4/9	産科婦人科	1:00	3:21	2:21	235	子宮付属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡によるもの）
2026/4/10	整形外科	1:00	1:34	0:34	57	内視鏡下ヘルニア摘出術（P E D）経椎間孔
2026/4/13	泌尿器科	3:30	5:15	1:45	50	腹腔鏡下腎盂形成術（内視鏡手術支援機器を用いるもの）
2026/4/13	眼科	1:00	1:36	0:36	60	涙管チューブ挿入術 1 涙道内視鏡を用いるもの
2026/4/13	食乳甲外科	1:15	2:02	0:47	63	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）
2026/4/14	産科婦人科	3:00	5:24	2:24	80	腹腔鏡下腔式子宮全摘術
2026/4/14	消化器外科	2:00	4:12	2:12	110	腹腔鏡下胆嚢摘出術
2026/4/14	眼科	1:00	1:43	0:43	72	硝子体茎頭微鏡下離断術（網膜付着組織を含むもの）
2026/4/15	整形外科	2:00	3:34	1:34	78	四肢軟部悪性腫瘍手術（大腿）
2026/4/16	産科婦人科	1:00	1:53	0:53	88	子宮付属器腫瘍摘出術（両側）（開腹によるもの）
2026/4/16	形成外科	1:00	1:34	0:34	57	組織試験採取
2026/4/16	形成外科	1:30	2:20	0:50	56	皮膚切開術
2026/4/16	整形外科	2:30	4:03	1:33	62	後方固定術（腰椎）（インスツルメント使用）
2026/4/17	眼科	0:30	1:00	0:30	100	涙囊鼻腔吻合術
2026/4/17	眼科	1:00	1:31	0:31	52	涙囊鼻腔吻合術

■ 100%以上/ ■ 150%以上/ ■ 200%以上

手術日	実施 診療科1	手術 予定時間	手術所要時 (1回目)	時間差	率 (%)	確定術式1
2026/4/21	脳神経外科	1:00	1:54	0:54	90	K181-2 脳刺激装置交換術
2026/4/21	産科婦人科	3:00	4:31	1:31	51	ロボット支援腹腔鏡下子宮全摘術（入院料含む）
2026/4/21	脳神経外科	0:45	2:20	1:35	211	K145 穿頭脳室ドレナージ
2026/4/22	泌尿器科	1:30	3:18	1:48	120	膀胱結石、異物摘出術（経尿道的手術）
2026/4/23	眼科	1:00	2:34	1:34	157	硝子体茎頭微鏡下離断術（網膜付着組織を含むもの）
2026/4/23	循環器内科	1:00	1:47	0:47	78	MitraClip
2026/4/28	消化器外科	3:00	5:08	2:08	71	ロボット支援下S状結腸切除術
2026/4/28	眼科	0:30	0:46	0:16	53	眼瞼挙筋前転法
2026/4/30	心臓血管外科	4:00	6:49	2:49	70	冠動脈、大動脈バイパス移植術（2本以上）
2026/4/30	形成外科	1:00	4:01	3:01	302	創傷処理(筋肉、臓器に達する)(長径10cm以上)(その他)

前月比	3 月	4 月
50%以上延長	31 件	31 件
100%以上延長	5 件	10 件
150%以上延長	1 件	5 件
200%以上延長	0 件	3 件

2026 年 5 月 8 日

安全管理部作成

手術部部長
手術部看護師長
手術部連絡協議会 各位

安全管理部長 池本哲也

ワーキンググループ（WG）組織のご提案

平素より医療安全管理業務にご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。

さて、昨今の医療安全管理の意識の高まりを受け、他の特定機能病院と同様に、徳島大学病院でも「ネバーイベント（左右誤認・患者誤認・誤薬）」撲滅への取り組みが必須と考えております。中でも言い逃れの出来ない手術時の「ネバーイベント」に対しては、多職種での院内の適切な対策の構築と円滑な運用が必要です。

そこで、本年度、以下の 2 点に絞り、手術部連絡協議会の委員の方々を核とした WG を立ち上げ、ルールの方策と運用方法について議論する場を作ってはどうかと考えております。

1. 手術時の「左右誤認」撲滅に向けた WG

左右誤認に関するヒヤリ・ハットは度々徳島大学病院の手術部でも生じており、共通の確認手順の方策が必要です。

2. 手術室搬入時の「患者誤認」撲滅に向けた電子化 WG

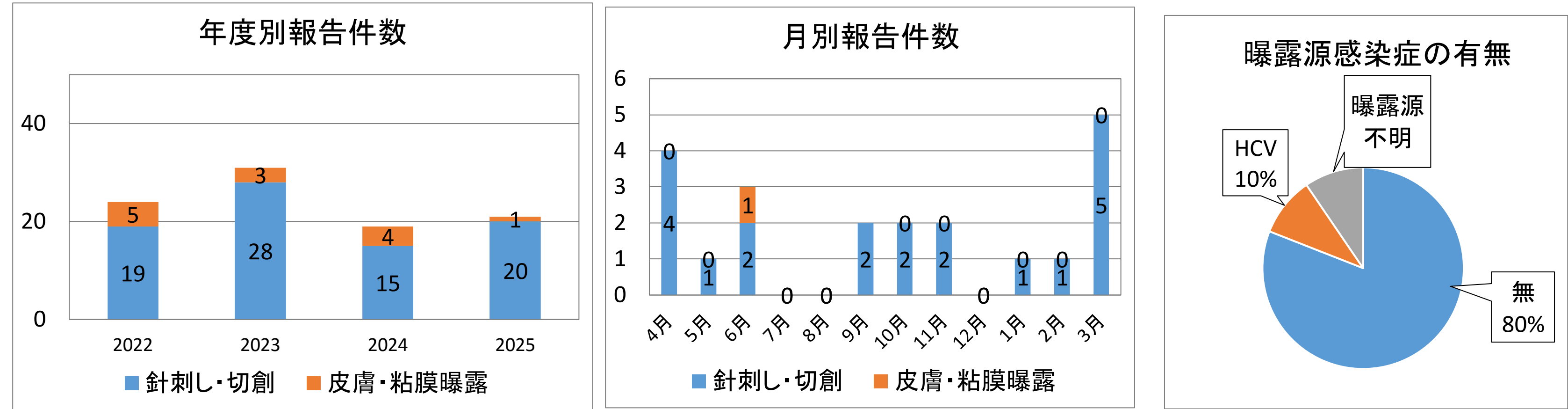
各手術室に入室する際の電子認証化に伴って、患者誤認した状態での誤搬入は限りなく 0 に近づいております。更に、手術指示書も電子化し、手術前指示についても電子カルテ上での指示・確認に切り替えたいと考えております（本 WG は各病棟からも参加が必要になります）。

ご賛同頂けましたら、改めて WG を組織し、ご案内いたします。WG は不定期開催ですが、手術部連絡協議会開催の際は同時開催としたいと考えております。

以上につき、ご議論の上、ご高配頂ければ幸いです。

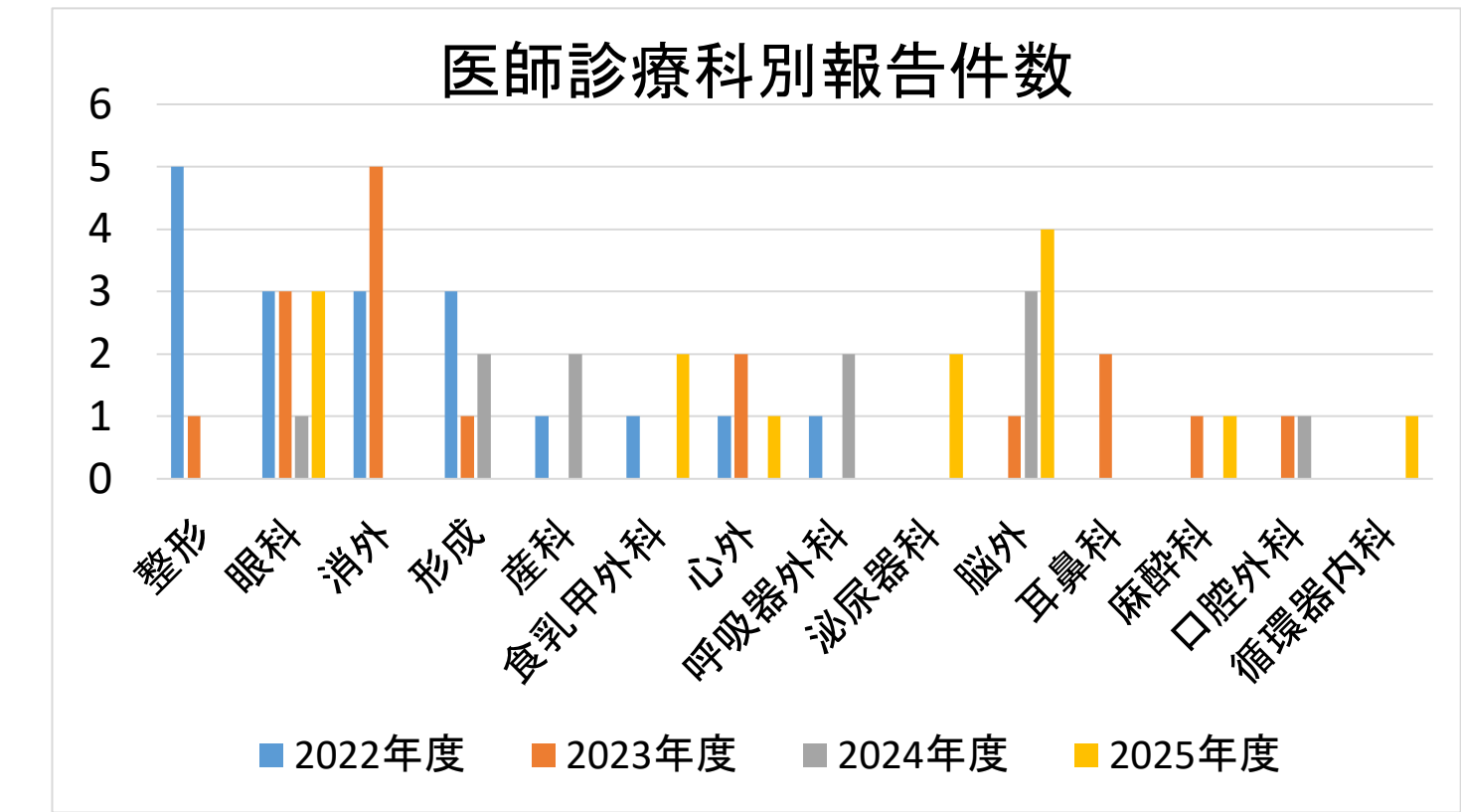
以上

1.発生状況



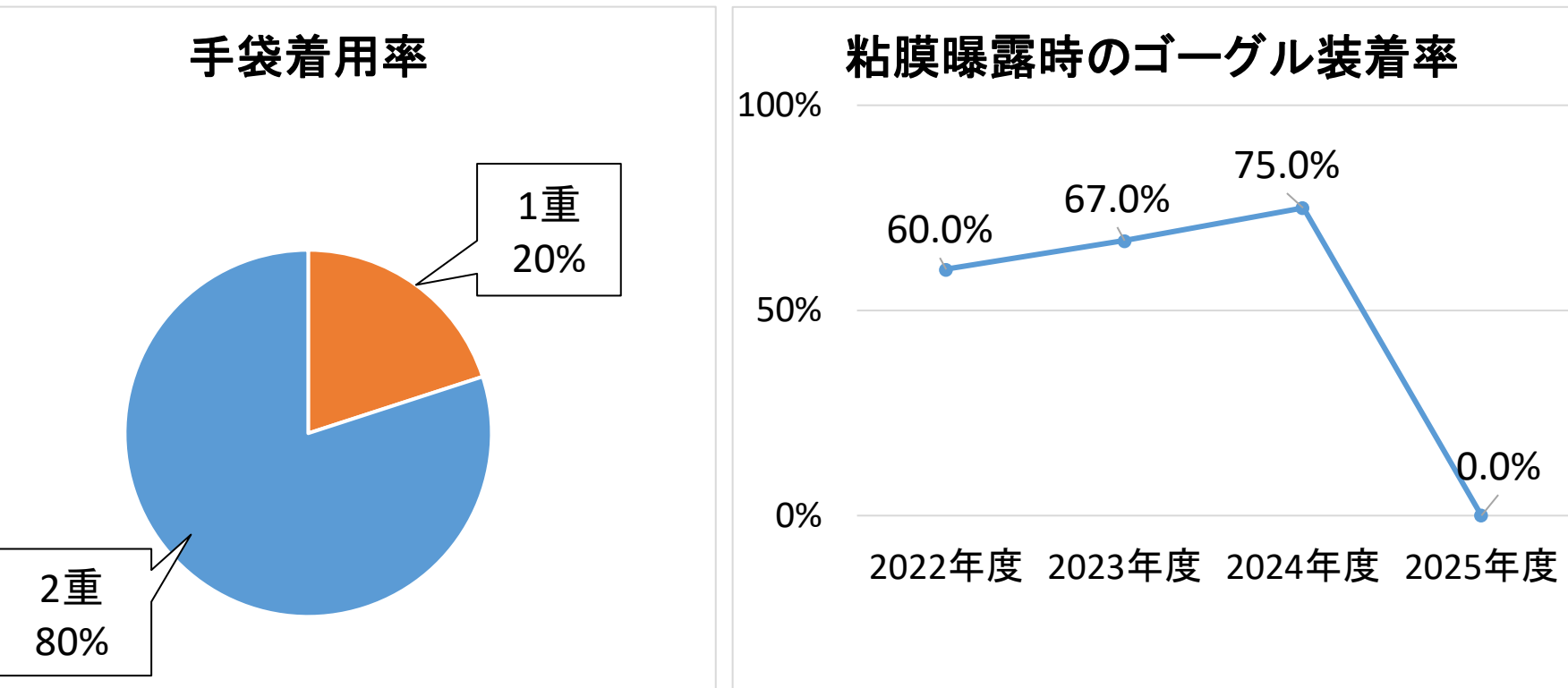
2025年度の発生件数は、針刺し・切創20件、皮膚粘膜曝露1件であった。月別報告件数では、3月が最も多く5件の針刺しが発生した。曝露源の感染症は、HCV陽性が2件、曝露源不明が2件あった。

2.針刺し・切創、粘膜・皮膚曝露診療科別報告件数



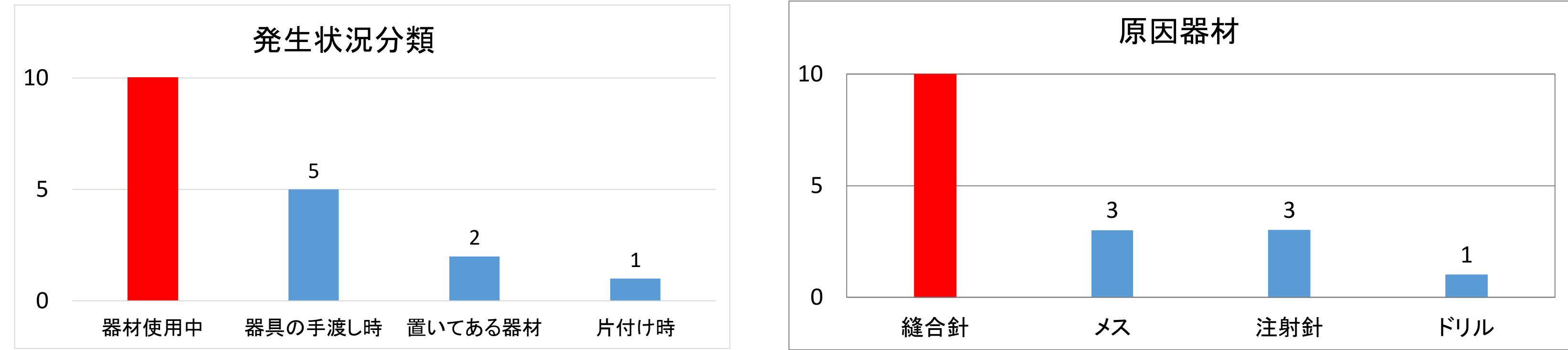
診療科別報告件数では、脳神経外科、眼科、食乳甲外科、泌尿器科、心臓血管外科、麻酔科、循環器内科からの報告があった。

3.個人防護具装着率



手袋着用率は100%であった。粘膜曝露は1件で、不意に曝露した事例でありゴーグルは装着できていなかった。

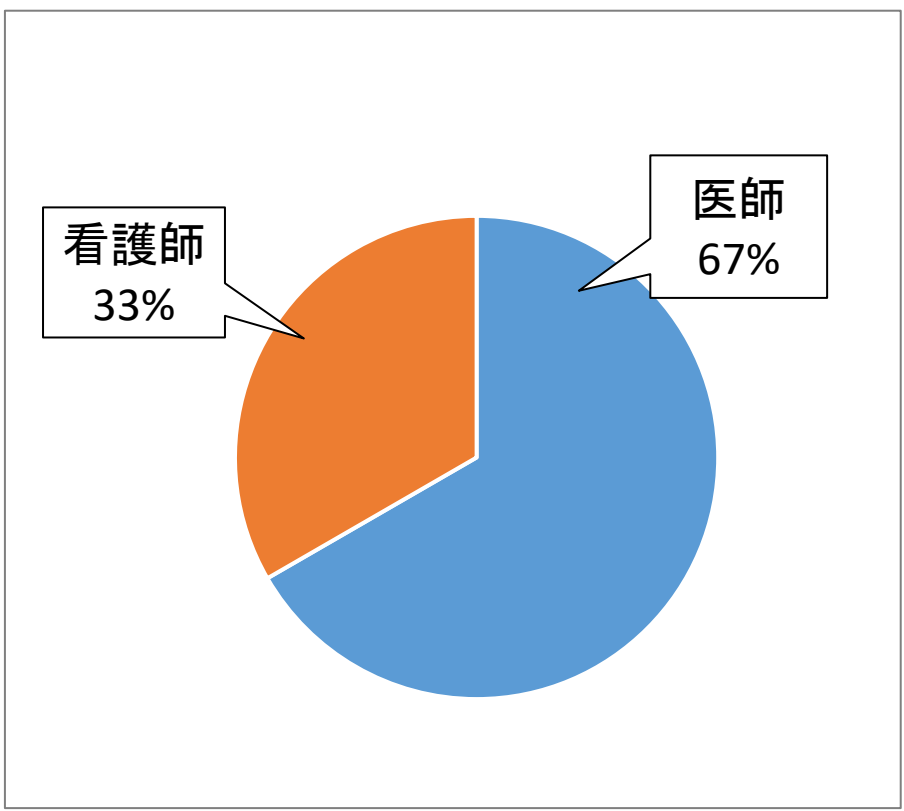
4.発生状況分類と原因器材別報告数



針刺し・切創の発生状況は器材使用中が10件で最も多かった。

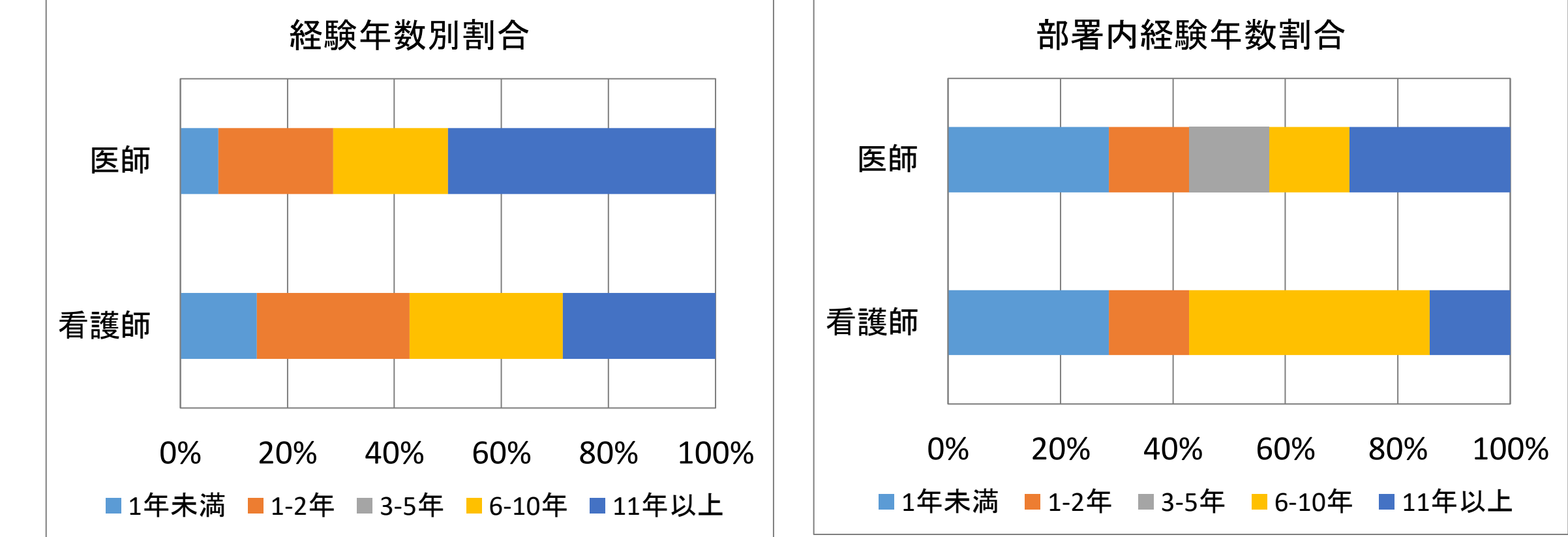
針刺しの原因器材は縫合針が10件と半数を占めていた。

5.職種別報告件数割合



職種別報告件数割合は、医師67% (14件)、看護師が33% (7件) だった。

6.経験年数別割合



経験年数別割合では、前年度医師は3年未満が半数を占めていたが、今期は11年以上のベテランが多かった。部署内経験年数では、若手とベテランの大きな偏りは見られなかった。

7.考察・まとめ

2025年度の発生件数は、針刺し・切創は前年度よりやや増加したが、皮膚粘膜曝露は1件のみであった。針刺し・切創の原因器材は縫合針が最も多く、自分が使用していた器材による受傷や、受け渡し時に相手が持っている器材による受傷が多かった。血液付着などのすべりやすい状況での取り扱いや、器材受け渡し時のコミュニケーション等、注意が必要である。また、粘膜曝露を予防するために、手術室に入る際には必ずゴーグルを着用することを徹底する。

8.今後の対策

- ・事後の聞き取り面談を継続し、当事者とともに再発予防策を検討する。
- ・手術室内ではフェイスシールドやゴーグルを必ず装着し、手術終了まで適切な装着を継続するよう徹底する。
- ・鋭利器材使用中のコミュニケーションの強化を図る。